



10月31日 第六教区団体参拝旅行 永平寺にて

雲林寺報

第16号

2014年新春号

吾妻郡長野原町73

大洞山 雲林寺

TEL0279-82-2201

新年のご挨拶

謹んでご新春のお慶びを申し上げますとともに、皆様のご繁栄とご多幸、平穩無事を心よりご祈念申し上げます。

物事を見るには変わらぬものと、変わるものとの二つの視点が必要だと思えます。

「理事」とか「理事者」などという言葉はごく身近によく使われる言葉ですが、「理事」はもともと仏教用語で、「理」とは根本の道理、「事」とは現象のことです。したがって学園なり組合なりの運営の大綱を把握するとも現実の具体的な問題の処理にあたる人のことです。草木に例えれば「理」とは土中の根であり、「事」とは地上にあらわれた幹であり枝葉であります。切花はどんなに美しくても根がないのでその命は短くあつという間に枯れてしまいます。同じようにいかに現実の具体的な問題の処理に長けていても、大局を把握しなかつたらやがては行き詰ってしまうのであります。にもかかわらず「事」は「理」にくらべると身近であり、それだけに取り組みやすく、そしてまた現実の生活と結びついておりますので人はともすると「理」を忘れて「事」のみに走りかねないのであります。一休さんはしゃれこうべをかつき、

「門松や冥土の旅の一里塚
めでたくもあり、めでたくもなし」といって、ただわけもなく正月気分にかかっている人々の心に冷水をあびせかけたのであります。

そこで正月を意義あらしめるには、松に古今の色がないという理の面と、竹に上下の節があるという事の面と、両面に心をくばらなくてはならないものだと思います。今年もよろしくお願い申し上げます。

雲林寺住職 轟 紀久

平成二十六年 雲林寺年間予定

- 一月二日 大般若祈祷会
- 一月四日～七日 年頭のご挨拶廻り
- 一月十八日 初観音 梅花流新年会
- 二月三日 節分会 午後七時より
- 二月十五日 釈尊涅槃会
- 二月十八日 梅花流一泊研修
- 二月下旬 教区護持会新年会
- 二月下旬 梅花流上級者検定
- 三月初旬 梅花流宗務所検定
- 三月十八日 春彼岸
- 三月十八日～二十四日 大般若会 午前十一時より
- 四月三日 釈尊降誕会(花祭り)
- 四月八日 梅花流全国大会
- 四月二十八日 群馬県檀信徒大会
- 五月二十九日 大施食会 午前十一時より
- 六月十九日 九月二十日 秋彼岸
- 八月十四日 十月十三日(体育の日) 第六回雲林寺親睦ゴルフコンペ
- 十二月八日 釈尊成道会
- 十二月三十一日 除夜の鐘

※四月三日の大般若会は今年より
どなた様でも参加できます。
平服で結構です。



二〇一三年後半の出来事

八月十四日十一時より雲林寺本堂にて大施食会が行われました。法要前には「日本の歌コンサート」が行われました。法要には多くの檀信徒の皆様にお集まり頂き、御先祖様の精霊へ御供養して頂きました。

一〇月三〇日より一泊二日で第六教区の団体参拝旅行が実施されました。初日は真言宗別格本山の那谷寺を訪れ、栗原温泉にて宿泊致しました。翌日は大本山永平寺にてご先祖様の供養が行われました。

十一月一日、長野原町の姉妹都市である米国モンタナ州のリビングストーン市よりお客様がみえました。習字や坐禅体験をして頂きました。



8月14日大施食会法要



11月1日リビングストーン市よりお客様

大般若会 四月三十一時より

大般若会とは、大般若経の経文を読む(転読)ことにより、その功德をもつて、世界の平和や参列者の平安などをご祈禱申し上げる法会です。

この転読とは、僧侶何人かで手分けして経本をアコーディオンのようにパラパラと広げてめくって流し読むことで、それによって清らかな「般若(はんにゃ)の風」が起きるとされています。この清らかな風に当たること、昔より家内安全、厄難消除、商売繁昌などのご利益があるとされております。

毎年この会では総代・世話人さんのみ参加されていましたが、本年よりどなたでも参列できるように致しました。是非皆様多数参列されて、転読による般若の清らかな風のご利益をお受け下さい。



親睦ゴルフコンペに参加して

市村隆宏

優勝スピーチをする市村さん



今年は、九月八日(日)に草津CCで第五回雲林寺親睦ゴルフコンペが開催され、楽しみにしながら参加させて頂きました。

当日は生憎の雨模様でしたが、三名の参加者で実施されました。小雨の中で開会式をし、みんな恒例の集合写真を撮りました。コンペはイン、アウトに分かれて小雨の降る中でスタートしました。しかし、残念ながら雨がやや強くなり、気温も下がってきたので、健康を考慮してハーフで集計するコンペになりました。良い判断だったと思います。

私は二回目の参加でしたがメンバーにも恵まれ、楽しくプレイさせて頂きました。午後はやや雨が弱まって、残りのハーフも回らせてもらいましたが、終了後の雲林寺でのパーティーには大勢が集まって良かったです。

パーティーには結果発表と賞品授与がありました。たくさん賞品を提供頂いた皆様には感謝しています。パーティーは和気藹々とした和やかな進められ、知り合いも増え、有意義な時間を過ごさせて頂きました。

集合写真は毎回撮って頂いており、しかも当日のパーティーで配られるのでとても良い記念になっています。これからも参加する皆様の日々の健康に注意し、できるだけたくさんの方が参加できるように願っています。私も楽しみにしています。ありがとうございました。



第5回 雲林寺親睦ゴルフコンペ 草津カントリークラブ 平成25年9月8日

節分会

2月3日 夜7時から

厄年の方は是非厄払いの祈禱をお申込み下さい。

一般祈禱料2千円 記念品付祈禱料3千5百円

(記念品付祈禱は当日会場の壇上に上がって福豆をまいて頂きます)
お寺直接もしくは担当の世話人さんにお申込み下さい。※節分講費5000の方は節分会終了後福豆と御礼をお渡ししております。詳しくは世話人さんに御相談ください。

平成26年 厄年早見表

| 前厄 | 本厄 | 後厄 |
|----|----|----|
|----|----|----|

| | | | |
|---------|------------|------------|------------|
| 女19歳の厄 | 17歳(1997生) | 18歳(1996生) | 19歳(1995生) |
| 男25歳の厄 | 23歳(1991生) | 24歳(1990生) | 25歳(1989生) |
| 女33歳の厄 | 31歳(1983生) | 32歳(1982生) | 33歳(1981生) |
| 女37歳の厄 | 36歳(1978生) | | |
| 男42歳の厄 | 40歳(1974生) | 41歳(1973生) | 42歳(1972生) |
| 男女61歳の厄 | 59歳(1955生) | 60歳(1954生) | 61歳(1953生) |

※厄年は数え年で見ます。節分まで(1月1日から2月3日)の生まれは前年に入ります。

本年も引き続き第6回を予定してお待ち申し上げます。皆様の多数のご参加を

感謝録

親睦ゴルフコンペの際は多くのご寄付を頂きましてありがとうございました。

賞品券
金一萬円
萩原昭朗様
櫻井芳樹様
櫻井輝久様
吉澤英樹様
田村建久様
市川一樹様
唐澤次郎様
山田久一様
長谷川武久様
草津カントリークラブ様

| 結果発表 | 一位 | 二位 | 三位 | 四位 | 五位 | 六位 | 七位 | 八位 | 九位 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 市村隆宏様 | 金子幸人様 | 野口正昭様 | 野原昭朗様 | 一萩茂樹様 | 宮崎保樹様 | 吉澤功近様 | 吉澤久功様 | 櫻井久功様 |

野口茂四郎翁 一〇〇回忌法要

皆様、野口茂四郎という方はご存知でしょうか？

十一月十九日、雲林寺本堂にて、「茂四郎トンネル」で有名な野口茂四郎の一〇〇回忌法要が行われました。

川原畑出身の茂四郎は二八歳の時に県議会議員に初当選します。郷土のさらなる発展には道路整備こそ最重要という強い思いから、県議会に「魔の難所」と呼ばれていた道陸神峠の開削案を提出しました。当時、吾妻渓谷を東西に結ぶ道路は狭くて険しかったのです。

明治二十三年、補助金支出が可決されるも、県費だけでは足りず、茂四郎は自己の全財産をなげうって現在の国道一四五号の原形となる野口新道を明治二十八年に開通させました。これによって吾妻渓谷が天下の名勝として世に出ることになります。

茂四郎は第八代目の長野原町長も務め、長野原町に貢献した人物です。当山本堂に御位牌がありますので機会がありましたら御参りください。

①長野原町かるたでは
群馬の政治家、野口茂
四郎」と読まれており
ます。



①



②

茂四郎トンネル



③

②国道一四五号の茂四郎トンネル
③法要は総勢一〇名の僧侶で厳かに行われました。当山で初の一〇〇回忌法要となりました。



第56回 梅花流群馬県奉詠大会
主催 曹洞宗群馬県宗務所

11月7日 梅花流群馬県記念奉詠大会



議員さん募集中です！

雲林寺では毎月2回2時間程度ご詠歌（梅花流）の会がございます。参加費無料。ご詠歌は、ご供養の気持ちで心温まるメロディーにのせて歌います。初めての方でも是非お気軽にお越しください。お待ちしております。

第五六回梅花流群馬県奉詠大会が十一月七日高崎市箕郷文化会館において開催されました。今年午後一時からの開会なので早朝の慌ただしさから解放され昼食も議員の皆様とゆっくりバスの中で頂きました。会場に着くといつものように宗務所梅花部青年会の方達の誘導によりホールの中へと移動します。箕郷文化会館は今回で二回目でしたが印象も薄くすっかり忘れていました。が講演さんの中でこのホールを的確に覚えていらした方には脱帽といったところ。今年東日本大震災で支援者三回追善法要も行われ、これからは東日本大震災で支援者三回追善法要も行われ、これをあらためて感じた次第でございます。登壇された皆様も、この曲は上級者の検定曲ということで数ある御和讃御詠歌の中でも難しいとされています。しかし日頃の練習の成果が実ってとて上手にお唱えできました。登壇された皆様が終わった後、お顔の汗を拭いている姿が印象的でした。



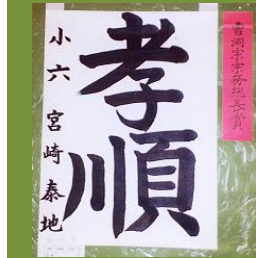
本年もよろしく
お願い申し上げます

- (総代)
- 会長 萩原昭朗
 - 副会長 櫻井芳樹
 - 書記 田村守
 - 黒谷川 元
 - 監事 野口敏幸
 - 櫻井輝久
 - 宮崎 透
 - 会計 山口次夫
 - 永井芳司
 - 黒岩範一
 - 山口喜正

- (世話人)
- 長野原 安斉たけ
 - 黒岩保男
 - 湯本定由
 - 浅見良雄
 - 櫻井敏雄
 - 湯本茂
 - 黒岩進
 - 萩原富夫
 - 金子茂雄
 - 小林寛
 - 川原畑 豊田清
 - 北原湯 土屋満洲夫
 - 川原畑 清水忠雄
 - 小林一雄 吉田昇
 - 宮田満 柳沢豊
 - 羽根尾 黒岩進
 - 与喜屋 萩原富夫
 - 横壁 金子茂雄
 - 林 小林寛
 - 川原畑 豊田清
 - 北原湯 土屋満洲夫
 - 川原畑 清水忠雄
 - 小林一雄 吉田昇
 - 宮田満 柳沢豊
 - 大津 湯本定由
 - 浅見良雄
 - 櫻井敏雄
 - 湯本茂
 - 黒岩進
 - 萩原富夫
 - 金子茂雄
 - 小林寛
 - 川原畑 豊田清
 - 北原湯 土屋満洲夫
 - 川原畑 清水忠雄
 - 小林一雄 吉田昇
 - 宮田満 柳沢豊
 - 津 湯本定由
 - 浅見良雄
 - 櫻井敏雄
 - 湯本茂
 - 黒岩進
 - 萩原富夫
 - 金子茂雄
 - 小林寛
 - 川原畑 豊田清
 - 北原湯 土屋満洲夫
 - 川原畑 清水忠雄
 - 小林一雄 吉田昇
 - 宮田満 柳沢豊

表彰 宮崎泰地殿

今年八月、第四七回曹洞宗青少年書道展において曹洞宗宗務総長賞を受賞されました。おめでとうございます。



◇ものしりぶくろ◇

「なぜ年玉といふの?」

お年玉の語源は「年(神)の賜り(たまわ)物」といわれます。もともと正月に子どもにあげる小遣いではなく、年初の贈り物を年末から正月に贈答することが始まったといわれ、江戸時代以後習慣となりました。町家では年玉と称して年賀の挨拶に紙や扇子などを持ち歩き、贈る習わしがあったのです。



年回正當のお知らせ

年回法要は、一般に法事と呼ばれているもので、亡くなった翌年が一周忌、その翌年が三回忌です。三回忌からは亡くなった年も含めて数え、追善供養の法要を営みます。略式ですがご連絡させて頂きます。**☆御名前は施主名になります。例⑦：七回忌**

- (長野原地区)
- 長谷川誠様① 野口敏幸様⑦ 宮崎透様②⑤ 秋元充様②⑥ 浅沼克行様②⑥ 浅沼清一様⑦ 阿藤啓二様①②③ 飯塚七子様⑦ 市川三男様⑬⑭⑮
 - 大塚守人様⑦ 岩木夏雄様②⑤ 加部美次様②③④
 - 黒岩保男様① 小池孝夫様⑬⑭⑮ 小池正太郎様②⑤⑥
 - 越水直様②⑦ 小林成子様①⑦⑧⑨ 小林秀喜様③④⑤⑥⑦
 - 酒井正躬様①⑦ 佐藤甲子様⑬⑭⑮ 佐藤修二郎様③④⑤⑥
 - 佐藤強様②③ 篠原瑞陽様① 篠原孝子様③④⑤⑥⑦
 - 崎高治様③ 芝田正雄様②③ 嶋村均様②⑦ 清水武男様②⑦ 清水勇次郎様③⑦ 霜田春男様①⑦ 高初夫様③③ 武田俊一様②⑦ 竹淵由紀子様①⑦
 - 野口和宏様①⑦ 野口光様②⑤ 橋詰澄夫様②⑤⑥⑦ 野口雄儀様①⑦ 羽田かつ子様① 平井強様②⑦ 丸山邦雄様⑬⑭ 宮崎昭様⑦ 宮崎武雄様③④⑤⑥⑦ 達彦様⑬⑭ 宮崎はる様⑦ 宮崎広保様③④⑤⑥⑦ 宮崎幸保近様③③ 山口喜正様③③ 山口美代様⑬⑭⑮ 湯本定由様③③ 横田義雄様①⑦ 山口八ノ様②③
- (大津地区)
- 櫻井輝久様③⑦ 浅川文雄様②⑦ 浅見金一郎様②⑥ 浅見章様①⑦ 浅見勇様①⑦⑧⑨ 浅見良雄様⑦ 一場榮様②③ 市村明様⑦ 市村広様③④⑤
 - 村由紀夫様③③ 梅内健一様⑦ 唐澤邦武様②⑤ 黒岩今朝二様③③ 黒岩今朝松様②⑤ 黒岩健一郎様②③ 黒岩治男様① 黒岩治郎様②⑦ 黒岩すみ子様⑬⑭ 黒岩唯夫様②⑤ 小林喜一郎様⑦ 小林清様⑬⑭⑮ 小山勝彦様① 小山充様⑬⑭⑮ 篠原百子様②③④ 島村照男様②③ 嶋村直樹様②⑤ 嶋村春生様① 嶋村満様①⑦ 島村義雄様②⑤ 島村富子様③③④ 島村哲夫様① 長岡豊様②⑤ 野口光一郎様① 野口善行様①⑦ 廣川直人様①⑦ 川智様①⑦ 野口善幸様②⑦ 山口一浩様⑦ 湯本明男様⑦ 湯本直幸様②⑦ 湯本茂様①⑦⑧⑨ 湯本功様①⑦ 湯本誠様①⑦ 湯本満様②⑤ 湯本功様①⑦ 湯本誠様①⑦ 湯本

- (林地区)
- 市村春二様③③ 小林伊久男様②⑦ 小林茂一様②⑤ 林福二様③③ 篠原昭一様⑦ 篠原憲一様⑬⑭ 篠原貞一様③③ 篠原太一様①⑦ 篠原武夫様③③ 篠原忠太郎様③③ 篠原政信様③⑦ 高原伸弘様①③③ 中里守様③③ 長橋勝美様②③ 星河すみ江様②③

- (横壁地区)
- 金子幸弥様③ 豊田美明様③
- (北軽井沢地区)
- 永井芳司様③③ 青木菊正様③ 青木博文様⑦ 青木裕治様⑦⑦⑦ 新井浩司様②③ 石井二郎様②⑤ 石井敏様②③ 石田俊雄様①③ 石田実様①⑦ 井上けさ子様①⑦ 大森一年様②⑤ 恩田明様⑦ 神倉稔様③④⑤ 谷川憲一様③④ 桐淵始春様①⑦ 桐淵正芳様③④⑤ 三ツ工様③④⑤ 佐々木経夫様⑦⑧⑨ 重原欽三様①⑦ 水忠雄様③③④ 清水素彦様⑦⑧⑨ 中原せつ子様②⑦ 中村嘉江様⑬⑭⑮ 成田豊様⑦⑧⑨ 西山義夫様②⑤ 萩原正顕様⑦⑧⑨ 半沢友栄様⑦⑧⑨ 藤田桂一様③④⑤ 星野和義様⑦⑧⑨ 細井忠幸様②⑤ 眞下健様①③③ 眞下豊様①⑦⑧ 増田哲夫様⑦⑧⑨ 宮澤昭次様③④⑤ 吉田茂様①③ 吉田久様③④⑤ 伊藤千枝様①⑦ 霜田初子様⑦⑧⑨ 松山絃子様⑦⑧⑨

- (与喜屋地区)
- 落合淳佐様⑬⑭ 加辺正司様①③ 小林喜久男様②③ 原恵三様①⑦ 篠原憲太郎様②⑤⑦⑧⑨ 篠原研様③③④⑤ 山口友江様③③④ 湯本努様①⑦ 野
- (羽根尾地区)
- 井上眞様③ 唐沢子三郎様③③④ 唐沢登喜夫様②⑤ 唐沢富雄様③④⑤ 唐沢美恵子様①⑦ 河村卓也① 黒岩昭様① 黒岩進様①⑦ 黒岩大様③④⑤ 黒岩忠吾様① 櫻井一雄様⑦ 櫻井秀樹様① 橋爪満男様②③④ 山口通夫様①⑦ 豊田二郎様②⑦

- (川原湯・川原畑地区)
- 野口美恵子様③④⑤
- (吾妻郡内) ※順不同
- 市村良平様③④⑤ 大竹博幸様①⑦ 大塚延子様③④ 笠原ほみ様⑬⑭⑮ 小林陽様②⑤ 篠原今朝六様③③④ 篠原弘平様①⑦ 竹田博栄様②⑦ 野口千鶴子様⑦⑧⑨ 野口英雄様⑬⑭⑮ 山口英子様①⑦ 中沢初江様③④ 寺島正明様③④⑤ 吉田悠一様②③ 関沢秋雄様①⑦ 滝澤和好様①⑦ 干川政彦様③④ 井口廣様②⑤ 佐藤幸子様①⑦ 竹内文雄様②⑤ 山本忠弘様①⑦

- (県内) ※順不同
- 五十嵐いま子様⑦ 唐澤満寿男様②⑦ 吉川克三様①⑦ 浅見敬子様⑦ 狩野守様① 佐藤広三様③④ 篠原実様③ 唐澤るい子様①⑦ 塚越尚男様⑦⑧⑨ 土屋直己様⑬⑭⑮ 茂木克行様③④⑤ 茂木吉之様⑦⑧⑨ 関富三様③④⑤ 南雲繁男様②③

- (県外) ※順不同
- 市村芳子様⑦ 黒岩利男様①⑦⑧ 篠原孝様⑦⑧⑨ 村三様①⑦ 野口宏様①⑦ 小瀬良枝様②⑦ 金丸明子様①⑦ 小林茂様①⑦ 櫻井和彦様③④ 篠原秀太郎様③④ 高橋容子様①⑦ 野口剛志様①⑦ 藤野戸泰文様②③④ 唐沢祥夫様①③④ 嶋村清様⑦⑧⑨ 清村正子様②⑤ 原章様②③ 浅沼久哉様①⑦⑧⑨ 中田みつ子様②③④ 萩勝彦様⑦⑧⑨ 三塚通之様③④⑤ 芝田守男様③④⑤ 市川憲三様①⑦ 篠原勤様③④⑤

平成二十六年年度年回早見表

| 年回 | 死亡年 |
|-------|--------|
| 一周忌 | 平成二十五年 |
| 三回忌 | 平成二十四年 |
| 七回忌 | 平成二〇年 |
| 十三回忌 | 平成一〇年 |
| 十七回忌 | 平成四年 |
| 二十回忌 | 平成〇年 |
| 二十三回忌 | 平成三年 |
| 二十五回忌 | 平成六年 |
| 二十七回忌 | 昭和六十七年 |
| 三十三回忌 | 昭和五十七年 |

皆様それぞれに新年を迎えていることと存じます。仏さまの教えの中に「安心」(あんじん)という言葉があります。これは、ほっと「安心」(ひとあしん)ん)という意味ではなく、仏さまの教えを深く信じ、実践してその結果として心の安らぎを得ている状態を表す言葉です。

言い換えれば、心が乱れないことであり、物事にこだわって悩んだりしないことです。

そのような「安心」の心を持って生きられれば時間的長さなどが問題でなくなりやすくなります。

人生は長さでなく質ですから一年の初めにあたって「安心」の心をもって生きることを仏さまに、そしてご先祖様に誓うことが、初詣の際の心得です。どうか実践していただければ幸いです。

副住職 轟 省吾